※令和４年度以降入学生用

学校番号	217

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編古典探究						
副教材等	改訂版古典文法要点整理ノート(数研出版)、読解現代文必携キーワードの卵（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生では１，３年生の古典科目との関連を考慮し、古典を読解・鑑賞する能力を養い古典に親しみ、古典的素養を身につけることを心がけます。
・古典を読み、現代につながる伝統と文化を知り、朗読や話し合い・文章記述などアクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・古典としての古文と漢文の作品を読み、古典と特有の表現を味わい、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについての理解を深めます。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。語彙力や文法の知識を身につけ、授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法および文の構造を理解し、文章や作品の内容を構成や展開に即して的確に捉えることができる。
・文章や作品に表れた先人の人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすることができる。
・授業に積極的に参加し、古典を読んで、日本の伝統文化の特質や、中国など外国の文化との関係について考える態度を育んでいる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深める。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	説話に親しむ ［教材］『宇治拾遺物語』「小野篁、広才のこと」「空を飛ぶ倉」	a:古典の作品や文章の種類とその特徴や、古典を読むために必要な文語のきまり、用いられている語句の意味や用法について理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて,古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい，学習課題に沿って，説話を正確に読み取ろうとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	随筆を読む 『方丈記』「ゆく河の流れ」	a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:表現の特色に注意しながら作品の内容を解釈し，学習課題に沿って『方丈記』で描かれる「無常観」について考えようとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	日記を読む 『土佐日記』「馬のはなむけ」「帰京」	a:古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて，書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 c:作品の表現や形式の特徴について理解し，学習課題に沿って作者の意図を読み取ろうとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
2学期	故事と小話 『戦国策』「蛇足」	a: 古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し，文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて,古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:進んで漢文の読み方を確認し，学習課題に沿って，故事成語の果たす役割について考えようとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	史記を読む 『史記』「鴻門之会」	a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにし、古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]:古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:登場人物の行動や心情，起こった出来事などを捉え，学習課題に沿って感じたことを話し合おうとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	随筆を味わう 『枕草子』「ありがたきもの」「中納言参り給ひて」	a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにし、古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[読]:古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し，今までの学習を生かして現代にも連なる心情について自らの考えを深めようとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	和歌の世界 『小倉百人一首の世界』	a:古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深め、古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]:古典特有の表現に注意して書き手の考えや目的,意図を捉えて内容を解釈するとともに，多面的・多角的な視点から評価することを通して，我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:進んで和歌を多面的・多角的な視点から評価し，学習課題に沿って言語文化についての自分の考えを深めようとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検

※令和４年度以降入学生用

3学期	軍記物語を味わう 『平家物語』「壇の浦の合戦」	a:古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深め、先人のものの見方，感じ方，考え方に親しみ,自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:軍記物語の表現の特徴について整理・理解しつつ特徴を生かすよう工夫して朗読し，学習課題に沿って描かれた人物像を読み取ろうとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	日本の漢詩文 「送夏目漱石之伊予」「漢詩の作り方を知る」	a: 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めるとともに、我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b[読]:作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c:積極的に日本人が作ったさまざまな詩を読み味わい，今までの学習を生かして言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　　…　（　　０　　）時間

・読むこと　　…　（　　７０　　）時間